令和３年度　No. ８

駒岡小学校だより　１２月号

晴天の校外学習

校長　中山　正之

今年も残すところ一か月となりました。１０月以降は台風や長雨に悩まされることがなく、比較的晴れの日が多い穏やかで暖かな毎日でした。この時期は各学年とも校外に出かける機会が増えますが、今年は雨で延期になった行事はありませんでした。この１か月余りの各学年の行事の様子を振り返ってみます。

運動会後の１０月末に５年生が江ノ島に行きました。駒岡小では江ノ島を目的地とする校外学習は初めてです。子ども達は島内をグループごとに巡る計画を立てていたのですが、実際に歩いてみると島の中は思ったより高低差があり、予定通りの時間で行き来するのに少し苦労していました。ただ、今回はお小遣いを持って行っていたので、買い物をする様子はとても楽しそうでした。昼食は七里ヶ浜沿いの大きなホテルの大宴会場でいただきました。感染症予防のため安全に食べられる場所をと考えてのことだったのですが、普段の校外学習ではあまり使わない場所なので、子ども達にとってはとても印象的だったのではないかと思います。赤城への宿泊学習が行えず残念な思いをさせてしまいましたが、気持ちの良い好天のもとで楽しい一日を過ごすことができました。

１１月１日には１年生が三ツ池公園に出かけました。公園まで片道３０分弱の距離ですが、上りと下りの坂道が交互にあり、車の通行に注意が必要な狭い道もあります。全校遠足では高学年にリードしてもらっていた１年生達ですが、今回は自分達だけで行きも帰りも上手に歩くことができました。公園内でも先生と決めた約束を守って楽しそうに過ごしていました。入学から半年が経ち、心身ともに成長したことが感じられ、頼もしく思いました。

続く１１月２日と３日、６年生が日光宿泊学習に出かけました。子ども達は出発前から健康に気をつけて過ごし、当日は体調をしっかりと整えて参加してくれました。初日は日光江戸村を見学し、いろは坂を上って奥日光へ向かい、宿へと入りました。ホテルでは食事の場所、部屋割り、入浴に至るまで細かな配慮がなされ、安全で清潔な環境で過ごすことができました。子ども達も夜更かしをせず、しっかりと睡眠をとったようです。二日目は祝日で混雑が予想されたため、早めの行動を心がけて過ごしました。快晴のもとで華厳の滝を見学し、下りのいろは坂では紅葉の美しさとバスの運転手さんのハンドルさばきに歓声を上げながら、東照宮へと急ぎました。東照宮はさすがに混雑していたものの、予定の見学スケジュールを無事に消化することができました。案内のガイドさんには「この学校の子ども達は話の聞き方がとても上手です。」と褒めていただきました。帰りの道中も渋滞なく進み、予定よりも若干早く学校に戻ることができました。この学年は昨年箱根に出かけた際に、帰りに大渋滞に巻き込まれ２時間遅れで帰り着いた経験があるので、先生達も一様に安堵した様子でした。お土産を手に笑顔で帰宅する子ども達の様子を見ながら、皆元気に帰ってくることができて本当に良かったと思いました。そして同時に、日光へ行くと木刀を買う子が多いなあと改めて思いました。

１２月以降も、地域の施設を見学したり、バスで出かけたりするなど校外学習は続いていきます。冬を迎えるとコロナの再流行等が懸念されますが、子ども達の健康に十分注意を払い、出かける際には安全に最大限気を配っていきます。これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。